

古典探究 シラバス	単位数	2 単位	2 学年 古典選択者
-------------	-----	------	--------------

1 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 使用教科書

使用教科書	東京書籍「新編古典探究」（古探 701）
-------	----------------------

I 部 2 年次 2 単位配当

領域・教材名 ページ数・配当時数	学習指導要領との対応	学習目標	学習活動	評価規準
■ 1 学期				
古文編 1 説話に親しむ（4～5 月）				
読む 宇治拾遺物語 P 10 2 時間	【知技】 (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】 読むこと(1)ア，イ，ウ，オ	・展開のおもしろさを味わいながら，説話を正確に読み取る。	□説話文学の特徴や文学史について，「言語文化」の学習を踏まえ，確認する。 □資料集などで出典について調べる。 【小野篁，広才のこと】 1 帝の篁への疑いの原因と，その疑いを晴らしたものが，ともに篁の学才にあることを理解する。（手引き 1） 2 言葉遊びのおもしろさがどこにあるかを読み取る。（手引き 2） 3 「帝ほは笑ませ給ひて，事なくてやみにけり。」となった理由を考える。（手引き 3） □帝と篁のやりとりのおもしろさをまとめる。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい，学習課題に沿って，説話を正確に読み取ろうとしている。
読む 十訓抄 P 12 2 時間	【知技】 (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】 読むこと(1)ア，イ，ウ，オ	・和歌を含んだ説話を読み取り，展開のおもしろさを捉える。	□説話文学の特徴や文学史について「言語文化」の学習を振り返り，確認する。 【大江山の歌】 1 定頼中納言の言動の内容を読み取る。（手引き 1） 2 小式部内侍のとった行動を読み取る。（手引き 2） 3 和歌文学，および和歌の技巧について理解する。 □登場人物の思いや状況，歌の工夫などを踏まえて，歌の良さを文章にまとめる。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結び付け，考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで和歌を含んだ説話を読み取り，学習課題に沿って展開のおもしろさを捉えようとしている。

読む 宇治拾遺物語 P 14 2 時間	【知技】(1)ア、イ、ウ、エ／(2)ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、エ、カ	・絵巻の内容も踏まえながら説話を読み取り、内容についての理解を深める。	□知っている説話を挙げ、特徴を確認する。 【空を飛ぶ倉】 1 本文を音読する。 2 絵巻の描写部分と対応させながら内容を理解する。(手引き 1) 3 話のおもしろさについて考える。(手引き 2) □図書館やインターネットで、古典の説話等で法師が不思議な力を持ち発揮する話を検索する。 □各話について要約したり、特徴を表にまとめたりする。 □共通点等についてグループで話し合い、発表する。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで絵巻と本文とを関連付けて捉え、学習課題に沿って内容についての理解を深めようとしている。
漢文編 1 故事と小話 (5 月)				
読む 小話一四編〔言語〕 P 158 3 時間 ■漢文の窓 1 漢文と古典落語	【知技】(1)ア、イ／(2)ア、イ、ウ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、ウ、キ ㊦ 読むこと(2)ア 【知技】(1)ア、イ／(2)ア、エ 【思判表】読むこと(1)ウ、エ、ク	・漢文の読み方を確認し、興味を持った内容を調べることによって理解を深める。	□「言語文化」で学習した故事成語や覚えている故事成語を発表し、故事成語について確認する。 【蛇足】 1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き 1) 3 「為 _ヌ 蛇ノ足 _ッ 者」が酒を失った理由を考える。 4 「蛇足」などの故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き 2・3) 【断腸】 1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3 桓公が「猿ノ子」を得た者を罷免した理由を考える。(手引き 1) 4 「断腸」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き 2) 【知音】 1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3 伯牙と鍾子期の関係を読み取る。(手引き 1) 4 「知音」という故事成語の意味や使い方を辞書で確認する。(手引き 2) 【畏饅頭】 1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。(手引き 1) 3 「窮書生」が饅頭を食べるために考えた計略について確認する。(手引き 2) 4 この話のおもしろさがどのような点にあるのか話し合う。(手引き 3) □本単元の教材をもとにして生まれた故	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、漢文の受容について考えようとしている。

			事成語や落語などについて知り，日本におけるさまざまな漢文受容について考える。（言語活動）（漢文の窓１）	
古文編２ 随筆を読む（６月）				
読む 徒然草〔言語〕 P 20 4 時間	【知技】(1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，ウ，カ ㊦ 読むこと(2)ア	・随筆に表れている作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取る。	□随筆文学が，作者の自由な目で記されたものであり，題材・文体が多岐にわたることを理解する。 【丹波に出雲といふ所あり】 1 主語を確認しながら，話のあらすじを読み取る。 2 聖海上人の言葉の変化に沿って，その心情を読み取る。（手引き１） 3 この話のおもしろさは，どういうところにあるか説明する。（手引き２・３） 【九月二十日のころ】 1 主語に注意しながら，話のあらすじを読み取る。（手引き１） 2 人物の行動を整理する。（手引き１） 3 作者の「その人」に対する評価をまとめる。（手引き２・３） 4 絵の違いを見つけ，その違いについて考えたことを話し合う。（言語活動） 【花は盛りに】 1 話題とする物事を，段落ごとに自然と人事に分けて整理する。 2 作者が推奨する花や月の美について理解するとともに，恋のあり方についても読み取る。（手引き１・２） 3 構成に注意して，作者の述べるものの見方や感じ方について理解する。	【知技】 - 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 - 古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 - 古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 - 古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 - 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 - 進んで各章段の構成や展開，内容を的確に捉え，学習課題に沿って作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。
読む 〔言語〕『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる P 26 1 時間	【知技】(1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)エ，カ，ク ㊦ 読むこと(2)イ	・随筆を読み比べ，作者の考え方の違いについて考察する。	1 「花」や「月」における見解の違いを読み取りまとめる。（課題１） 2 「恋」における見解の違いを読み取りまとめる。（課題２） □隠者文学としての『徒然草』の内容と文学的位置について理解する。	【知技】 - 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 - 古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 - 古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 - 古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 - 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 「読むこと」において，古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 - 進んで随筆を読み比べ，学習課題に沿って作者の考え方の違いについて考察しようとしている。
読む 方丈記 P 29	【知技】(1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ	・表現の特色に注意しながら，随筆に表れてい	□『方丈記』の内容と作者，時代背景についてまとめる。	【知技】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。

1 時間	【思判表】読むこと(1)ア, イ, ウ, カ	る作者の考えを的確に捉える。	【ゆく河の流れ】 1 全文を繰り返し音読し, その構成と内容を捉える。 2 「人」と「栖」と, 「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。(手引き 1) 3 「無常を争ふさま」とはどのようなことかを踏まえて, 『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。(手引き 2) □作品の現代的意義について考える。	・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において, 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し, 学習課題に沿って『方丈記』で描かれる「無常観」について考えようとしている。
漢文編 2 唐詩と文 (6 ～ 7 月)				
読む 唐詩一八首 P 166 4 時間	【知技】(1)ア, イ, エ／(2)ア, エ 【思判表】読むこと(1)ア, イ, エ, カ	・漢詩に描かれている情景や心情を読み取り, 優れた表現に親しむ。	□「言語文化」で学習した「漢詩の形式ときまり」をコピーして配布したり, 便覧などを利用したりして, 漢詩のきまりや特色を思い出す。 【宿建德江】 【勸酒】 【静夜思】 1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。(手引き 1) 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き 3) 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き 1) 7 訳詩を試みる。 【礪中作】 【送元二使安西】 【登岳陽樓】 1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。(手引き 1) 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き 3 ・ 4) 5 正確な現代語訳をする。(手引き 2) 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き 1) 7 訳詩を試みる。 【登高】 【八月十五日夜, 禁中独直, 対月憶元九】 1 それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。(手引き 1) 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形, 押韻, 対句の表現について考える。(手引き 3 ・ 4) 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し, 暗唱する。(手引き 1) 7 訳詩を試みる。 □近体詩八首の中で印象に残った詩を挙げ, どこが印象的であるかを話し合う。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において, 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んでさまざまな唐詩を読み味わい, 学習課題に沿って, 言語感覚や想像力を豊かにしようとしている。

			＊Dこの教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	
読む 文一二編 P 175 4 時間	【知技】(1)ア, ウ／(2)イ, エ 【思判表】読むこと(1)ア, イ, ウ, キ	・語句の意味や修辭に注意して内容を読み取り, ものの見方や感じ方を広げる。	□教科書の P. 一六五の略年表や便覧等を用いて, 作者の韓愈・陶潜が, いつの時代の人であるかを確認する。 【雑説】 1 本文を正しく音読する。 2 段落ごとに, 脚注・辞書等を参照して, 語句・句法の意味・用法に注意しながら正しく現代語訳し, 内容を確認する。(手引き 1) 3 段落相互の關係に留意し, 各段落の要点を整理する。(手引き 2) 4 作者は「伯楽」と「千里馬(名馬)」の比喻によって何を主張しようとしたのかを考える。(手引き 3) 5 「雑説」の内容について, 現代に通じる点を考え, 話し合う。 【桃花源記】 1 本文を正しく音読する。 2 段落ごとに, 脚注・辞書等を参照し, 語句・句法の意味・用法に注意して正しく現代語訳し, 内容を理解する。(手引き 1) 3 あらすじをまとめ, 話の展開を理解する。(手引き 2) 4 「桃花源」とはどのような村か, 箇条書きに整理して確認する。(手引き 3) 5 「桃花源記」の作者陶潜が, この作品を書いた思いについて考え, 話し合う。 □「雑説」と「桃花源記」の現代に通じるテーマについての意見交換を通して, それぞれの文章の内容を再確認する。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方, 感じ方, 考え方に親しみ, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 必要に応じて書き手の考えや目的, 意図を捉えて内容を解釈するとともに, 文章の構成や展開, 表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において, 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に, 自分のものの見方, 感じ方, 考え方を深めている。 【主】修辞などに注意しながら進んで文章の内容を読み取り, 学習課題に沿って, 現代に通じる内容やテーマについて考察しようとしている。
■ 2 学期				
古文編 3 作り物語を読む (9 月)				
読む 竹取物語〔言語〕 P 32 4 時間 ■ 古文の窓 1 羽衣伝説	【知技】(1)ア, イ, ウ, エ／(2)ア, イ 【思判表】読むこと(1)ア, イ, エ, カ 【知技】(1)イ／(2)ア 【思判表】読むこと(1)エ	・作り物語の内容を叙述に即して読み取り, そこに表れた人々の思いを捉える。	□昔話としての「かぐや姫」について発表する。 □作品全体についての解説を聞き, 概略を理解する。 □「なよ竹のかぐや姫」を音読し, 古文のリズムを味わう。また, 大まかな内容を理解する。 □かぐや姫の誕生についてどのように描かれているか確認し, 作品の伝奇的特質について話し合う。 □伝奇的特質に注目して, 昔話などの話型を確認する。 【天の羽衣】 1 全文を通読し, 概略を捉える。 2 かぐや姫の言動に注目し, その人物像について考える。(手引き 1) 3 「天の羽衣」は, かぐや姫にどのような変化をもたらしたか, 考える。(手引き 2)	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し, 古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応, 文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている, 言葉の響きやリズム, 修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して, 我が国の文化の特質や, 我が国の文化と中国など外国の文化との關係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 文章の種類を踏まえて, 古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において, 作品の成立した背景や他の作品などとの關係を踏まえながら古典などを読み, その内容の解釈を深め, 作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において, 古典の作品や文章などに表れているものの見方, 感じ方, 考え方を踏まえ, 人間, 社会, 自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作り物語の内容を叙述に即して読み取り, 学習課題に沿って

			4 古文の窓 1 「羽衣伝説」を読み，知識を広げる。 【富士の山】 1 全文を通読し，概略を捉える。 2 帝の心情と行動について考える。（手引き 1） 3 「富士の山」の名前のいわれについて，本文の内容をまとめる。（手引き 2） □「天の羽衣」「富士の山」から，当時の人々のどのような思いが読み取れるか，話し合う。（言語活動） ＊Dこの教材には，関連するデジタルコンテンツが用意されているので，適宜利用するとよい。	物語に表れた人々の思いを捉えようとしている。
古文編 4 和歌の世界（9 月）				
読む 小倉百人一首の世界 『小倉百人一首』より 〔言語〕 P 40 3 時間	【知技】(1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ，エ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，ウ，カ，ク	・和歌を多面的・多角的な視点から評価することを通して，言語文化について自分の考えを深める。	□『小倉百人一首』の中で知っている歌を挙げ，その意味を確認する。 □『小倉百人一首』の成立について，簡単な経緯を知る。 1 「君がため…」の歌について，筆者が「視覚」「心情」それぞれの面からどのように評価しているかを確認する。（手引き 1 ①） 2 「ちはやぶる…」の歌について，どのような情景を詠んだと考えられるかを確認する。（手引き 1 ②） 3 「わが袖は…」の歌について，「沖の石」のどのような状態を，どのような心情にたとえたのかを確認する。（手引き 1 ③） 4 「めぐりあひて…」の歌について，月のどのような様子を，幼友達のどのような様子にたとえたのかを確認する。（手引き 1 ④） 5 教科書に鑑賞文が掲載された歌以外の和歌を鑑賞する。（言語活動）	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 ・進んで和歌を多面的・多角的な視点から評価し，学習課題に沿って言語文化についての自分の考えを深めようとしている。
読む 〔言語〕和歌を読み比べる一討論会形式の「歌合」 P 51 1 時間	【知技】(1)イ／(2)ア 【思判表】読むこと(1)ウ，カ	・和歌を読み比べ，その内容や技法などについて理解を深める。	1 歌合にふさわしい和歌二首を選び，自分が応援する歌を決め，その歌のよいところをまとめる。（課題 1 ・ 2） 2 討論を行う。（課題 3） 3 審判が判定をする。（課題 4） 4 和歌の鑑賞について振り返る。（課題 5） □『小倉百人一首』が果たした役割について知る。	【知技】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 ・進んで和歌を読み比べ，学習課題に沿って和歌の内容や技法などについて理解を深めようとしている。
漢文編 3 史記を読む（10 月）				
読む 項羽と劉邦〔言語〕 P 182 7 時間	【知技】(1)ア，イ，ウ／(2)ウ，エ 【思判表】読む	・登場人物の行動や心情，起こった出来事などを捉え，感じた	□「本紀」「紀伝体」等の形式を確認する。 【鴻門之会】	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。

	こと(1)ア, イ, エ, カ ㊦ 読むこと (2)ア	ことを話し合う。	1 第一段落と第二段落を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認する。 2 第一段落と第二段落を現代語訳し、登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理する。（手引き 1） 3 第三段落の第一節と第二節（一八七・2 まで）を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認する。 4 第三段落の第一節と第二節を現代語訳し、新たな登場人物を整理する。（手引き 1） 5 第三段落の第三節と第四段落を音読し、書き下し文で留意する箇所を確認する。 6 第三段落の第三節と第四段落を現代語訳し、登場人物のはたらき、樊噲の主張をまとめる。（手引き 2・3） 7 沛公が無事に脱出できた理由を話し合う。（手引き 4） 【四面楚歌】 1 本文の前半（一九一・1「騎之」まで）を音読する。 2 句法に注意して本文前半を書き下し、現代語訳する。（手引き 1） 3 本文の後半（一九一・1「於是」以降）を音読する。 4 句法に注意して本文後半を書き下し、現代語訳する。（手引き 2） 【項王自刎】 1 第一段落を音読する。 2 句法に注意して第一段落を書き下し、現代語訳する。（手引き 2） 3 第二段落を音読する。 4 句法に注意して第二段落を書き下し、現代語訳する。（手引き 1） 5 三つの教材を通して、項羽の人物像について話し合う。（手引き 3） 6 「項羽笑曰」の笑いとはどのような笑いか考え、話し合う。（言語活動） ＊㊦この教材には、関連するデジタルコンテンツが用意されているので、適宜利用するとよい。	・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで登場人物の行動や心情、起こった出来事などを捉え、学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。
読む 〔言語〕『史記』の名場面を脚本化する P195 1 時間 ■漢文の窓 2 捲土重来	【知技】(1)ア, ウ／(2)イ, エ 【思判表】読むこと(1)ウ, オ, ク ㊦ 読むこと (2)エ 【知技】(1)ア, ウ／(2)エ 【思判表】読むこと(1)ウ, ク	・作品を読み込んで脚本化を試み、グループ内で朗読したり、劇として演じたりしてみる。	□これまでの学習で読み取った人物像をもとに、項羽の生き方についてどう思うか話し合う。 1 脚本化する場面を決める。 2 選んだ場面を読み込み、登場人物の心情や人間性を考える。 3 登場人物の姿を生き生きと描き出せるよう工夫しながら、脚本を書く。 4 完成した脚本をグループ内で読み合う。 □蘇軾の文章や杜牧、王安石の詩を参考にして、項羽の行動に対する自分なりの評価を考える。（漢文の窓 2）	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、

				感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 〔主〕 進んで登場人物の行動や心情，起こった出来事などを捉え，学習課題に沿って感じたことを話し合おうとしている。
漢文編 4 中国の知恵（11 月）				
読む 寓話一五編 P 198 7 時間	〔知技〕(1)ア，イ／(2)ウ，エ 〔思判表〕 読むこと(1)ア，イ，ウ，カ	・古代中国のさまざまな考え方に触れ，寓話や故事成語の意味について理解を深める。	□「寓話」という言葉を国語辞典・漢和辞典で調べ，教訓的な内容を，たとえを用いて表した話であることを理解する。 □寓話の出典が書かれた時代を，教科書巻末の「中国文学史年表」で確認し，それぞれの寓話が春秋・戦国時代という価値観の混乱した時代から生まれたことを理解する。 【出藍誉】 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ，正確に現代語訳する。（手引き 1） 3 それぞれのたとえ話が，元のものよりも優れたものとなっている例と，ものの性質は後天的に矯正することができる例であることを確認する。（手引き 2） 4 主題をまとめる。 5 「出藍の誉れ」がここから生まれた故事成語であることと，その一般的な意味について確認する。（手引き 3） 【侵官之害】 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ，正確に現代語訳する。（手引き 1） 3 韓の昭侯が「典冠」と「典衣」双方を処罰した理由を理解する。（手引き 2） 4 『韓非子』が説く「明主」のあり方を理解する。 【刻舟求劍】 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ，正確に現代語訳する。（手引き 1） 3 本文をたとえ話と筆者の主張の部分とに分け，それぞれの内容をノートにまとめる。（手引き 2） 4 「刻舟求劍」の故事成語の意味を参考にしながら，本文の主題を考える。（手引き 3） 【塞翁馬】 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ，正確に現代語訳する。（手引き 1） 3 「塞翁」と周囲の人々の場面ごとの言動を確認する。 4 本文に述べられている「禍」と「福」について順番に指摘させ，ノートにまとめる。（手引き 2） 5 「塞翁」の考え方について確認する。 6 「塞翁が馬」という故事成語の意味や使い方を理解する。（手引き 3）	〔知技〕 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 〔思判表〕 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 〔主〕 進んで古代中国のさまざまな考え方に触れ，学習課題に沿って寓話や故事成語の意味について理解を深めようとしている。

			【杞憂】 1 本文を繰り返し音読する。 2 正しい訓読をもとに語彙を調べ，正確に現代語訳する。（手引き 1） 3 「杞国」の人の心配と，それに対する「曉す者」の説明を，ノートにまとめる。（手引き 2） 4 「杞憂」という故事成語の意味や使い方を理解する。（手引き 3） □それぞれの寓話と，便覧等で調べた思想家の基本的主張とを対比し，寓話が思想表明であり，読者を説得しようとしていることを確認する。 □各寓話を時代順に並べ替え，現実世界を治めるための手段がより現実在即した形に変化していることを確認する。	
古文編 5 日記を読む（12 月）				
読む 土佐日記 P 54 4 時間	【知技】 (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，ウ，エ，カ	・表現の特色を踏まえて，作品に込められた意図を考える。	□日記と日記文学との違い，この作品の内容と作者について，そのおおよそを理解する。 【馬のはなむけ】 1 当時の月日や時刻の呼び方について知る。（手引き 1） 2 この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。（手引き 2） 3 臚化表現，機知を感じさせる表現を指摘し，この作品の特色を考える。 4 冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。（手引き 3）（古文の窓 2） 【帰京】 1 自邸の荒れた様子と，管理を申し出た隣人に対する不信感と憤りを読み取る。（手引き 1） 2 和歌を詠むに至った経緯と心情，および和歌の内容を読み取る。（手引き 2） 3 末尾の一文を読み取り，冒頭と照応している結語であることを理解する。 □当時の旅のしきたりや，船旅の困難な様子をまとめる。 □仮名文による日記の文学史的位置について理解する。	【知技】 - 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 - 古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 - 古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 - 古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 - 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作品の表現や形式の特徴について理解し，学習課題に沿って作者の意図を読み取ろうとしている。
読む 更級日記 P 58 3 時間 ■古文の窓 2 日記文学—『蜻蛉日記』と『更級日記』	【知技】 (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，エ，オ 【知技】 (1)イ／(2)ア 【思判表】読むこと(1)エ	・他の作品との関係も踏まえながら日記を読み，作者の心情を的確に捉える。	□日記文学の流れと概要について学び，理解する。 □『更級日記』とその作者について理解する。 □当時の東国から都までの旅について，そのおおよそを確認する。 【門出】 1 本文を読み，作者の育った東国の生活について理解する。（手引き 1） 2 作者の物語への憧れについて整理する。（手引き 2） 3 門出にあたっての作者の心情を読み取る。（手引き 3）	【知技】 - 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 - 古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 - 古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 - 古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 - 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。

			4 作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。 【物語】 1 本文を読み、「源氏の物語」を手に入れた経緯と、それまでの作者の気持ちをまとめる。（手引き1） 2 「源氏の物語」を読む感動はどのように描かれているか、まとめる。（手引き2） 3 ここに語られる「夢」とはどういうものか理解し、それに対する作者の態度を読み取る。 4 「まづいとはかなく、あさまし。」という表現に注目して、少女時代の物語耽溺に対する晩年の思いを知る。（手引き3） □ 二教材から分かる、日記文学の特徴を挙げる。	・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで文学史における日記文学の位置づけについて理解し、学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。
■ 3 学期				
古文編 6 軍記物語を味わう（1 月）				
読む 平家物語〔言語〕 P 66 4 時間 ■ 古文の窓 3 受け継がれる『平家物語』	【知技】 (1)ア、イ、ウ、エ／(2)ア、イ 【思判表】 読むこと(1)ア、イ、ウ、カ ㊦ 読むこと(2)エ 【知技】 (1)イ／(2)ア、エ 【思判表】 読むこと(1)エ	・朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする。	□ 平安末期の混乱した時代背景についてまとめる。 □ 「壇の浦の合戦」の『平家物語』における時代・時間的な位置づけを明らかにする。 【壇の浦の合戦】 1 全体の構成を意識しながら通読して、あらすじをつかむ。 2 第一段落と第二段落における、教経の奮戦の様子を読み取る。 3 教経がどのような人物として描かれているか考える。（手引き1） 4 第三段落の知盛の発言に着目し、知盛がどのような人物として描かれているか、教経と対比しながら考える。（手引き1） 5 最後の場面の描写からどのような感じを受けるか話し合う。（手引き2） □ 「壇の浦の合戦」に描かれた、死に直面する人物が何を考え、何を思っていたのかをまとめる。 □ 激しい海上戦の状況や人物の心情を意識して朗読する。（言語活動） □ 『平家物語』から広がる文学・芸能の諸相について考える。（古文の窓3）	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】 進んで軍記物語の表現の特徴について整理・理解しつつ特徴を生かすよう工夫して朗読し、学習課題に沿って描かれた人物像を読み取ろうとしている。
漢文編 5 三国志の世界（2 月）				
読む 十八史略 （参考）星落秋風五丈原 P 208 8 時間 ■ 漢文の窓 3 三国志	【知技】 (1)ア、イ、ウ／(2)ウ、エ 【思判表】 読むこと(1)ア、イ、エ、キ 【知技】 (1)ア、イ／(2)ア、エ 【思判表】 読むこと(1)エ、ク	・歴史上の人物を描いた作品を通して、登場人物の行動や心情を捉え、人間の生き方を考える。	□ 『十八史略』『三国志』の特徴を確認する。 【水魚之交】 1 本文を音読し、話の内容を大まかに捉える。 2 句法に注意して本文を書き下し、現代語訳する。（手引き1）	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。

			3 諸葛亮が自らを管仲・楽毅になぞらえていた、とはどのようなことか、発表する。 4 諸葛亮はどのような人物であるのか、簡潔にまとめる。 5 諸葛亮の「天下三分の計」の要点を具体的に理解する。（手引き 2） 6 諸葛亮の献策を劉備はどう評価したのか、考える。（手引き 3） 【蝸股肱之力】 1 本文を音読し、書き下し文・現代語訳を作成する。（手引き 1・2） 2 劉備と諸葛亮の相手に対する心情と、深い信頼関係を読み取る。 3 劉備の遺言に対する返答から、諸葛亮の人柄を考える。 【流涕斬馬謖】 1 本文を音読し、書き下し文にする。（手引き 1） 2 使役と受身に注意して、現代語訳する。（手引き 1） 3 第一段落の展開について、蜀と魏が比較できるよう表にまとめて整理する。（手引き 2） 4 この話からわかる孔明の人柄をまとめる。（手引き 3） 【死諸葛走生仲達】 1 第一段落と第二段落を音読し、書き下し文にする。 2 第一段落と第二段落を現代語訳し、諸葛亮と司馬懿の考えを把握する。 3 第三段落を音読し、書き下し文にする。（手引き 1） 4 句法に注意して第三段落を現代語訳する。（手引き 1） 5 司馬懿の心理を考える。（手引き 2） □「参考」の詩を読んで、諸葛亮がどのように後世の人（特に日本人）にイメージされているかとらえる。	・先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って登場人物の行動や心情を読み取り、人間の生き方について考えようとしている。
古文編 7 近世文学の世界（3月）				
読む 世間胸算用 P 76 2 時間	【知技】(1)ア、イ、ウ、エ／(2)ア、イ 【思判表】読むこと(1)ア、イ、エ、カ	・作品の背景も踏まえながら、近世文学の内容を読み取る。	□井原西鶴とその作品、なかでも「町人物」と呼ばれる作品について調べ、その特色を知る。 【蝸売りの八助】 1 「八助」の人物像と、商売の方法を読み取る。（手引き 1） 2 「親仁」の言葉の比喩の意味を考え、話の展開を確認する。（手引き 2） 3 話の結末を踏まえ、どのような教訓が込められているのか考察する。（手引き 3） 4 本文を音読し、文章のリズムを味わう。 □近世の文章の特色について考察する。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、

				感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで近世小説のリズムや表現を味わい，学習課題に沿って近世小説に描かれた人々の生活や人物像を読み取ろうとしている。
読む おらが春 P 79 2 時間	【知技】 (1)ア，イ，ウ，エ／(2)ア，イ 【思判表】読むこと(1)ア，イ，ウ，カ	・表現の特色に注意しながら，作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取る。	□小林一茶という作者や『おらが春』について調べ，大まかな知識を得る。 【幼子さと】 1 段落ごとに，さとがどのように描かれているか整理する。(手引き 2) 2 さとに対する作者の思いを，たとえの表現から考える。(手引き 1・2) 3 本文に描かれた家族のありようから，作者の人生観を読み取る。 □本文の表現や内容について，印象に残った点をまとめる。 □全体の鑑賞を通して，時代を経ても変わらない人間の心の機微について考えを深める。	【知技】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し，古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで作者の表現の工夫について理解し，学習課題に沿って描写に表れる作者の精神性について読み取ろうとしている。
読む ご当地キャラクターと古典 P 83 1 時間	【知技】 (1)イ／(2)ア，ウ 【思判表】読むこと(1)キ，ク	・ご当地キャラクターなどを通して，現代に生きている古典について理解を深める。	□自分たちが住む土地に関する古典作品や歴史上の人物について発表する。 1 「今に残る古典の名前」「ご当地キャラクター」の部分を読み，内容を理解する。 2 教科書〔八四〕に載るご当地キャラクターの由来やそれに関する古典作品や伝説，歴史上の人物について調べ，発表する。(課題 1) 3 ご当地キャラクター以外で，古典作品や伝説，歴史上の人物について調べ，発表する。(課題 2) 4 古典作品や伝説，歴史上の人物などを調べ，ご当地キャラクターを考案する。(課題 3) □「今に生きる古典」としてどのようなものがあるか考え，発表する。	【知技】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 【思判表】 ・「読むこと」において，関心を持った事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 ・「読むこと」において，古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主】進んで現代の生活に根付く古典の存在を見だし，学習課題に沿って現代と古典の世界とのつながりについて理解を深めようとしている。